



編集 公益財団法人まちみらい千代田
〒101-0054 千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
URL <https://www.mm-chiyoda.or.jp>

まちみらい千代田公式フェイスブック
URL <https://www.facebook.com/MMChiyoda>

まちみらい千代田公式ツイッター
URL <https://twitter.com/MMChiyoda>

オーライタロー+まちかどの近代建築写真展IN海老原商店

—うるわしの商店建築—

「海老原商店」は、千代田区神田須田町で昭和3(1928)年の竣工以来90年以上の歳月を刻んできました。看板建築(建物の前面に屋号を取り付けた銅板などで装飾を施した町場の建築で、多くは商店と住宅を兼ねている)のシンボルともいえるその存在は、藤森照信氏の名著『看板建築』などによって広く知られています。そのもともとの姿を生かした改修工事を経て、平成29年に新たによみがえりました。

オーライタロー氏は長年にわたり、看板建築をはじめとする古い建物を油彩画や銅版画で描き続けており、海老原商店も何度かそのモチーフとなっています。また、平成16年から始まった「まちかどの近代建築写真展」は、全国津々浦々の町に今もたたずむ大小の近代建築を訪ねて写真に収め、出前写真展を開いている仲間たちの巡回展で、今回が80回目となります。

今回は海老原商店での展示ということで、テーマを「うるわしの商店建築」(理髪店・銭湯・医院・写真館・薬局・食堂・時計店)にしました。昭和初期にタイムスリップしたかのような空間で、さまざまな「商店」のさまざまな在りようをめぐる絵と写真をお楽しみください。

■日時 4月27日(土)～5月6日(月・休)12:00～19:00
■場所 海老原商店



©オーライタロー
(2019年作・アクリル画)

■問合せ 080-6800-1400(海老原)
会期中のトークイベント(入場無料)
(1)4月27日(土)17:00～19:00

「うるわしの商店建築」
オーライタロー氏(画家)、岡崎紀子氏(まちかどの近代建築写真展実行委員/まちあるくいーん)、海老原義也氏(海老原商店を活かす会代表)
(2)4月28日(日)17:00～19:00

「楽しい商店建築さんぽ日本VS台湾」
渡邊義孝氏(一級建築士・尾道空き家再生プロジェクト理事)、岡崎紀子氏
(3)5月5日(日・祝)16:00～17:30
「銅板装飾について」
大沢匠氏(建築家)

※建物改修費用の一部は、まちみらい千代田が実施する「千代田まちづくりサポート事業」の助成金が活用されています。



市民によるまちづくり活動を応援する「千代田まちづくりサポート」

応募相談を5月13日(月)から受付開始





第19回千代田まちづくりサポート(まちサポ)の応募相談を5月13日(月)から受け付けます。まちサポは、千代田区を活性化、住み良い魅力的なまちにしようとする市民レベルでがんばっているまちづくり活動や、これから始めようとするまちづくり活動を支援します。

募集概要を記載した応募の手引きと応募用紙を5月8日(水)に「まちみらい千代田ウェブサイト」へ掲載します。

■予約・問合せ
協働まちづくり・総務グループ
☎3233-17556

- ◆助成対象
千代田区を中心とした市民レベルのまちづくり活動
- ◆助成部門・助成額
①はじめて部門＝一律5万円
活動の実施内容について、検討中の場合など、お試しの活動に助成します。書類審査で助成を決定します。
②一般部門＝5～50万円
自立して継続を目指す活動に対して助成します。最大3年間応募可能です。
③テーマ部門＝最大50万円
(テーマ設定者の応募があった場合に募集します。)
ある特定のテーマに対し、活動を募集する部門です。
④普請部門＝最大500万円
まちづくり拠点のための空き室リノベーションや、歴史的建造物、使われていない空地などを改修・改造して活用する活動に対して助成する部門です。
- ◆応募資格
3人以上のグループで、千代田区のまちづくりに関する活動であれば、在住・在勤・在学・国籍を問わず、応募できます。
- ◆応募制限
同一の企画内容で千代田区や区に關係する団体などから助成を受けている活動や、政治・宗教・営利を目的とする活動は、応募できません。
- ◆応募相談・申請書類受付
応募相談を、まちみらい千代田の窓口で行います。
※応募相談のない場合は、応募ができません。
・応募相談期間
5月13日(月)～31日(金)平日の9:00～17:00(12:00～13:00を除く・要電話予約)
・応募受付期間
5月20日(月)～6月14日(金)
※まちづくりサポート事務局へ電子メールで応募書類を提出
- ◆公開審査会(7月20日(土))
応募内容を公開の場で発表していただき、助成の可否および助成額について審査します。
- ◆活動報告(11月、4月)
助成対象グループとなった場合、中間発表会および活動成果発表会で活動内容を報告していただきます。



女性起業家を応援する千代田ビジネス起業塾を開催します。OL・主婦の方はもちろん、学生、シニアの方など、これまでも、20代から60代と幅広い年代の方が受講されています。カリキュラムは起業に必要なマーケティングや財務など基本を学び、事業計画書を作成します。小さなお子さん(未就学児)がいらっしゃる方は託児サービス(有料)をご利用いただけます。

また、起業塾は、千代田区の特定創業支援事業に認定されており、修了要件を満たした受講生は、支援機関からさまざまな支援を受けることができます。

■日時
6月6日～8月1日の毎週木曜(全9回)18時45分～20時55分

■会場
ちよだプラットフォームスクウェア4階

■定員
20名
(定員になり次第、締切)

■受講料
一般1万円
区民・学生5千円

■問合せ
産業まちづくりグループ
☎3233-17558

千代田ビジネス起業塾
〈女性起業家編〉受講生募集中!

千代田まちづくりサポート「テーマ設定者」募集中

問 協働まちづくり・総務グループ ☎3233-7556

■テーマ部門とは
企業や団体などが求めているテーマや関心のある分野に対して活動を募集する部門です。

■テーマ例
環境に優しいまちづくり活動をしてほしい。
商店街の活性化を手助けしてもらえ企画を提案してほしい。

■応募条件
お問い合わせください。

マンション無料相談窓口開設中

問 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223

時 月曜日～金曜日(土日祝を除く)
午前9時～午後5時(受付は4時まで)

場 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア

対 千代田区内のマンション居住者および所有者

予 応相談(個人情報公開されることはありません)

中小企業向けビジネス法律相談随時受付中(無料)

問 産業まちづくりグループ ☎3233-7558

時 応相談
(お問い合わせからおおむね1週間前後)

場 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア

申 電話にて予約状況をご確認ください。
相談内容は、ビジネス相談に限ります。



ちよだいちばのイベント情報



■月間ご当地まつり「大分県竹田市まつり」4月1日(月)～26日(金)

竹田市は九州で最大のしいたけの産地です。広大肥沃な土地に恵まれ、夏も涼しいという気候からお米をはじめ、かぼす・サフランも有名です。店内では、多彩なしいたけの加工品のほか、地元でしか味わえないお菓子・酒類・手作りトマトケチャップなどを販売しています。ぜひご来店ください。



■たけたのちよい飲み 4月19日(金)19:00～20:30(予定)

詳細は、ちよだいちばウェブサイト(<https://www.chiyodaichiba.com>)をご覧ください。

■問合せ

ちよだいちば(千代田区神田錦町2-7-14丸山ビル1階)
☎&FAX5577-3846(※午前中の電話対応はできません。)



新着マンション管理関係図書のご案内

まちみらい千代田ではマンションに関するさまざまな分野の図書を所蔵しています。今月は新しく管理組合運営、修繕、マンション防災などに関する図書を購入しました。

新規図書を含めた所蔵図書のリストは、まちみらい千代田ウェブサイトでご覧になれます。

貸出しは無料です。ぜひご利用ください。

新しく購入した図書(順不同)

	書籍名	出版社
①	マンション管理組合会計の手引き ～基本から仕訳を中心にして～	マンション管理センター
②	逃げないですむ建物とまちをつくる ～大都市を襲う地震等の自然災害とその対策～	技報堂出版
③	2020年マンション大崩壊から逃れる50の方法!	宝島社
④	四谷コーポラス～日本初の民間分譲マンション1956-2017	鹿島出版会
⑤	建替えor耐震補強?崩壊させてたまるか ～ゼロからのマンション再生～	河出書房新社
⑥	マンション管理組合のトラブル相談Q&A —基礎知識から具体的な解決策まで—	民事法研究会
⑦	認知症ケア環境事典	ワールドプランニング
⑧	トラブルになる前に…マンションくらしの騒音問題	技報堂出版
⑨	マンション改修見積	建設物価調査会
⑩	まんが マンション大規模修繕	建設物価調査会
⑪	マンション管理修繕・建替え徹底ガイド2019年版(日経ムック)	日本経済新聞出版社

問合せ 住宅まちづくりグループ ☎ 3233-3223

ウェブサイト <https://www.mm-chiyoda.or.jp/living/5106.html>



第11回千代田ビジネス大賞 大賞表彰企業紹介

～ステンレス製バルブのパイオニア～

鈴木治作株式会社 代表取締役社長 鈴木 謙三

鈴木治作株式会社は、大正11年に神田富山町で鋼材・鋼板・浴場部品の販売業として創業しました。以来、90余年にわたり現本社所在地の岩本町(旧町名:東紺屋町)で営業を継続してまいりました。工業系流体制御機器の専門商社として確固たる基盤を築いたのは、昭和36年より取り組んだ、耐食性素材として注目されつつあったステンレス鋼配管機器の販売でした。高性能な代替品で、高価であり、当時の業界ではメジャーでない製品であったため、やや高めのリスクがありましたが、結果としては、「ステンレスバルブと言えば鈴木治作」と言われるまでになり、大きな評価をいただきました。

近時、大手化学プラント会社は、人員不足並びに安全確保のために、バルブ等配管の自動化を推進していますが、バルブ等機器の納期の長期化が大きなネックとなっています。当社は、専門商社の業態にもかかわらず、プラント会社等の納期短縮の要望に応じるために、有効在庫の充実、自動弁組立工場の拡充と技術の革新、禁油処理設備の社内併設等を戦略的にを行い、営業基盤の改革を積極的に実施しました。結果として、大手ユーザの期待に応えることができ、大きな成果を生み出せました。また、半世紀にわたる流体制御のノウハウを持った企業として、プラント施設等の安全性や生産性の向上を目的とした提案を精力的に行う

こと等で、社会に大きな貢献をしてきました。

当社は3年後の2022年に創立100周年を迎えます。

化学プラント工場のような大規模生産設備の自動化並びに効率的かつ迅速な設備メンテナンスは、社会生産性の観点から、より重要度を増しています。

今後の当社の課題は、「流れをコントロールするエキスパート」として、創業以来培ってきた技能の有効活用は言うまでもなく、お客様の多種多様な要望に対して多面的なベスト・ソリューションを準備・提供することで社会全体の効率化を図り、社会の発展に寄与することと考えています。

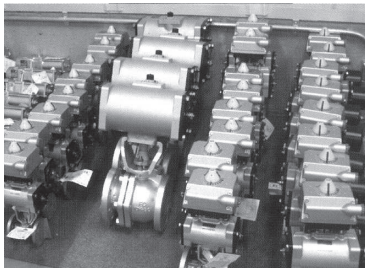


受賞企業の特典として、下段に広告を掲載しております。

広告

流 体 制 御 の エ キ ス パ ー ト

SUZUKI JISAKU CO.,LTD.



鈴木治作株式会社
<http://www.suzuki-jisaku.co.jp>

このページの広告掲載希望は、まちみらい千代田まで ☎ 3233-7555

